



周南たちばな学園 袋井市立三川小学校 学校だより

令和3年5月26日 発行

三川っ子だより

No.4

ゴールデンウィーク明けの子どもたち。朝、昇降口から「おはようございます!」と元気のよい挨拶が聞こえてきます。通学班リーダーの「解散!」の声も自信を帯びてきました。

「地域と三川の教育を語る会」「学校運営協議会」

先日(5月20日)の学校公開日には、保護者の皆様をはじめたくさんの方の来校をいただきありがとうございました。午後には「地域と三川の教育を語る会」と「学校運営協議会」が開かれ、委員の方々に、5校時を参観していただいた後、授業の感想や地域での子どもたちの様子について教えていただきました。



<授業参観より>

参観された「タブレットの活用」や「外国語活動」の授業に関して、これまでにはなかったことが導入されていることに驚かれていらっしゃいました。

また、『聴く力』の低下を心配される御意見もいただきました。子どもが「よしやってみよう」と思える課題設定、「聴いてみたい」と思わせる教師の話術の必要性を感じました。さらに、自分の話を満足いくまで聴いてもらえた心地や安心感があると他人の話も聴けるようになります。学校で御家庭で、子どもの声にじっくり耳を傾ける時間を大人が意識して取っていくことは、子どもたちの『聴く力』を付けることにつながります。忙しい毎日ですが、スマホやゲームから目を離し、お子さんとの会話の時間を楽しんでみてください。

<地域での様子より>

あいさつ運動や見守りの時、挨拶の声が小さいと感じるとの御意見もいただきました。校内では元気にあいさつできる子どもたちですが、地域の方に応えることができていないようなので、学校でも繰り返し指導していきます。

通学路で危険な箇所があるということでした。通学路点検の機会を利用し、地区役員さんと通学区担当とで確認していきます。

これからも、保護者・地域の方々と一緒に三川の子どもたちが「私らしく」歩めるよう教育活動を行っていきます。御理解・御協力をお願いいたします。

茶受式

毎年、三川茶業振興会様よりお茶をいただいています。今年度も児童代表で松の木委員会の6年生が受け取りました。

このお茶は、給食時に各教室にやかんで運ばれ、子どもたちが飲用しています。お茶が大好きな子どもたちですし、毎日おいしいお茶が飲めることはとてもありがたいです。(5月21日付の静岡新聞でも紹介されました。)



「もしも・・・」

首都圏等で緊急事態宣言が継続されるなど、なかなか収束が見られない新型コロナウイルス感染症です。もし、自分や友達が新型コロナウイルスに感染したら、濃厚接触者となったら…お互いが相手のことを思いやったり、人権意識を高めたりする授業を全クラスで行いました。

子供たちからは、「感染したらどうしよう」「感染したくないな」「マスクすることは大切だね」というつぶやきが出たり、担任からは「噂でいろいろ言っているいけないこと」、「もし、感染した友達がいても責めるような言葉を投げかけないこと」など話をしたりしました。

現在、近隣で感染症が広まってきています。学校では、常時換気、手指消毒、マスク着用の徹底、大声での会話（特に給食時）や密にならない距離を保つ等、指導していきます。

御家庭でも、「もしも・・・」の話をしていただくとともに、引き続き、感染症予防対策の徹底のお願いいたします。



令和3年度 職員紹介

今年度、5月1日より市の支援員として、「鈴木智咲子（ちさこ）」が任用されました。

特別支援学級を中心に様々なクラスの支援に入ります。
よろしくお願いいたします



また、5、6年生の外国語活動は、周南中学の大石先生とALTのシャリ先生から教わっています。外国語活動は、外国語に慣れ親しめるよう、耳慣れ、聞き慣れしていくことが大切と言われています。大石先生やシャリ先生からたくさんの外国語のシャワーを浴びてほしいと思います。



教頭（川島）
48-6197
070-8686-0361